



一宮小増築工事後の完成予想図

総務文教委員会

市の企画部、総務部、財政部、地域振興部、出納室、選挙管理委員会、監査事務局、教育委員会などに関する事項に対応する委員会です。

◎勝山 修 ○佐々木裕子
北本周作、権田直良、末永弘之、竹内靖人
野村昌平、森下寛明、森西順次

今期定例会で付託された議案九件、継続審査中の請願一件を審査。

議案第五十号「工事請負契約について」は、市立一宮小学校の校舎増築工事の契約議案。公明公正な入札・契約のあり方を研究し、新年度から校舎使用できるよう申し入れ、賛成多数で原案可決と決した。

議案第三十号「平成十八年度一般会計第二次補正」では、新洋学資料館建設事業に関して、まちづくり交付金・合併特例債

による財源確保と、他の合併特例債事業とすべきものとの整合性についてなど意見が出され、審査の結果、全員一致で原案可決と決した。

議案第三十二号「平成十八年度公共用地取得事業特別会計第一次補正」では、「まほらファーム事業用地」を一般会計で事業化するためのものでは、

ることが説明され、全員一致で原案可決と決した。

議案第三十七号「付属機関設置条例の一部改正」では、国際化推進計画策定のため審議会を立ち上げることが説明され、関連事項として、市政の根幹に関わる事項などは公表前に議会へも説明をするように申し入れをし、審査の結果、全員一致で原案可決と決した。

議案第三十八号「消防団の設置等に関する条例」と議案第三十九号「公務災害補償等に関する条例」の一部改正、及び議案第四十六号「スポーツ振興審議会条例」は、質問もなく、全員一致で原案可決と決した。

議案第四十五号「文化センター条例の一部改正」は、食堂及び売店を早期再開するため使用料減額をするものであり、再開に向け努力をするように申し入れをし、審査の結果、全員一致で原案可決と決した。

議案第四十七号「過疎地域自

立促進市町村計画の変更について」は、第四次総合計画との整合を図り、過疎債の充当可能性を担保することを目的とするものであるが、合併特例債の対象となるよう最優先で取り組むことが説明された。過疎債を使うことで他事業に影響ないように有利な財源を確保していくことを要望し、全員一致で原案可決と決した。

継続審査中の請願「サラリーマン増税、消費税の引き上げなど、大増税に反対する請願書」は、引き続き調査・研究が必要であるとして、継続審査と決した。

報告事項では、「第四次総合計画の概要について」、「固定資産税賦課誤りに関する還付・遡及について」、「市長インタビューシッブ事業」、「青少年健全育成巡回指導事業に関しての再調査」、「給食センターの施設・運営」、「通学区域制度の弾力化」、「城西公民館建設事業」があった。

◎ 議員はお中元やお歳暮も禁止されています。